

ALBUS
PHOTOLAB STUDIO

今を生きる子どもたちが、いつかおじいちゃんおばあちゃんになって、孫に自分の写真を見せるときどんな話をするだろう。残された1枚の写真が歴史を伝え、現在へとつなげてくれる。写真とはそれに流れている時間や記憶をそう呼ぶのではないか、そんな「写真」を伝えていくための写真屋としてALBUSは生まれました。アルバスでは、撮影や現像はもちろん、2Fはギャラリーとして写真にまつわる様々な活動に取り組んでいます。

撮る、残していく、未来に

関連イベント

うなぎの寝床 白水さんと一緒に、はたらきかた研究ゼミ

日時：2019年 8月4日(日) 時間：12:00 -
場所：いふくまち保育園 (福岡県福岡市中央区薬院伊福町 11-3)
料金：3,500円
定員：10名 *申し込み多数の場合は抽選のご案内となります。



うなぎの寝床 代表 白水 高広

うなぎの寝床は、地域文化商社として八女市を拠点に地域文化にどう商業機能をつけるのかと経済的なシステムを考え日々活動されています。アンテナショップとして自分たちで売ることあれば、メーカーとして商品を開発したり、様々な姿カタチで経済部分を担う役割をしています。今回は、みなさんの「これ、どうしたらいいんだろう？」を白水さんと一緒に探求し考える少人数制の研究会です。おしごととの悩みや、カタチにしたいものがあるけどそれをどうできるのか等々、一緒に深く考えてみませんか？お申込み時にみなさんの「これ、どうしたらいいんだろう？」を教えてください。

* ご予約・詳細はALBUS店頭 or HPより



もんぺで 撮影会

もんぺを穿いて記念写真はいかが？

限定
30組



詳細、申し込みはこちら！

期間：2019年 9月1日(日) - 9月30日(月)
場所：ALBUS 2Fスタジオ *毎週水木はお休み
内容：撮影 + データ5カット + Lサイズプリント5枚
対象：今回の展示販売会でもんぺを購入された方
料金：8,500円(税別)
*ご予約・詳細はALBUS店頭 or HPより

関連イベント予約・お問い合わせ

ALBUS
PHOTOLAB STUDIO

Tel : 092-791-9335
Mail : info@albus.in
HP : www.albus.in

http://albus.in/post-2941/

現代風

もんぺ at ALBUS 2F
PHOTOLAB STUDIO



地域にひらかれた写真館で、久留米絨に出会おう。

「ご飯もたべれる まちの写真館」として、地域と家族に関わり合いながら、写真文化を伝える活動をしているALBUS。今回、地元福岡で織り紡がれてきた久留米絨のもんぺを伝える場所として、一緒に「もんべずら〜」を開催させてもらうことになりました。会場には、久留米絨を中心に70種以上300本ほどの、多種多様なもんぺがずら〜と並びます。また他産地の織物も知ってほしいという思いで、備後節織(広島)・遠州織物(静岡)・グアテマラ(中南米)の絨生地などのもんぺも並びます。戦時中に着物をほどいてつくられ、戦後に農作業着として定着したもんぺには、福岡県南部でつくられる伝統的な綿織物である久留米絨が使われてきました。糸を縛って染めて柄をつくる、現代では考えられないくらい複雑な工程を経て、80年ほど前のビンテージ織機で織られています。古い織機がならぶ工房、親から子へと技術をつないできた人々。かつては300件以上あった織元も、いまは23件まで減っています。その空間も記憶も、久留米絨が織られなくなってしまうと、消えていってしまうもの。久留米絨の布には、そんな地域の文化も織り込まれているのです。地域にひらかれた写真館ALBUSへ、お一人でもカップルでもファミリーみんなでも、久留米絨に出会いにきてもらえたら嬉しいです！

【主催】
【お問い合わせ】



うなぎの寝床

〒834-0031
福岡県八女市本町 267

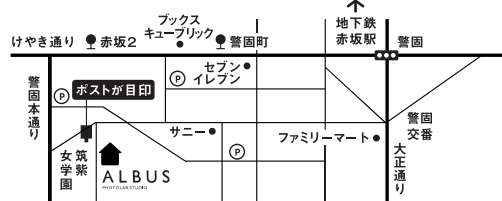
うなぎの寝床は、2012年7月に九州・ちくごのもののづくりを伝えるアンテナショップとしてスタートした「地域文化商社」です。地域文化を、文化的にも経済的にも、持続可能な形で継続させていくために活動しています。

TEL:0943-22-3699 Mail:u-info@unagino-nedoko.net
URL:http://unagino-nedoko.net

【会場】

ALBUS 2F
PHOTOLAB STUDIO

〒810-0023 福岡市中央区警固 2-9-14
tel 092.791.9335 info@albus.in www.albus.in albusphoto.in
open 11:30 close 18:00 (土日祝は19:00まで) 水・木曜日店休



* 駐車場無し
ご利用の際は近隣のコインパーキングをご利用ください。

2019 7.27 sat → 8.4 sun

11:30 - 18:00 時間
(27日(土)・28日(日)・3日(土)は19:00まで)
31日(水)・1日(木) 休み
ALBUS 2F 会場

現代風

軽いー気持ちいいーやめられない

もんぺ

at

ALBUS 2F
PHOTOLAB STUDIO



うなぎの寝床

福岡・警固で販売します！

ずら〜ずら〜

解剖!! 久留米絣とMONPE 10のこと

着物をほどいて 作られた「もんぺ」



1942年、厚生省による着衣のガイドライン「婦人標準服」で発表され、もんぺは全国に広がりました。布不足の中、女性たちは着物をほどいてもんぺを仕立てたのです。戦後も農作業着として定着し、久留米絣の生地が使われてきた歴史があります。

糸を縛るってどういうこと?



絣(かすり)とは、糸を縛って防染し柄をつくる技法のことです。イメージしにくいかもしれませんが、文字通り織る前の糸の束をぐるぐるっと縛る「くくり」と呼ばれる工程です。その糸を染めてほどこいて、白く残ったところが柄になります。

久留米絣の柄の種類は?



織物には、たて糸とよこ糸があり、絣にもよこ糸をくくる「よこ絣」、たて糸をくくる「たて絣」、そして両方ともくくる「たてよこ絣」があり、柄合わせが難しく技術が必要です。他にも産地では無地、縞、チェックも織られています。

1 前ポケット

かがんだ時にお尻がつっぱらないよう前ポケットがついています。農作業着として穿かれていたもんぺの名残です。

2 かすれた模様を 構築する絣

糸を縛って防染した「くくり糸」でつくる柄。プリントでは表現できない独特の模様が特徴です。

3 柄物だけじゃなく 無地もあるよ

久留米絣は柄を構築するのが最大の特徴。着心地を知ってもらえる無地も織っています。

4 Made in Fukuoka の綿織物

福岡県南部の筑後地方で織られる久留米絣。綿織物なので、天然繊維ならではの良さが魅力です(商品には久留米絣以外の生地が使われているものもあります。)

5 ゴムと紐の併用なのだ

ゆるい腰ゴムなので、いろんな体型の方に合います。最後に紐でキュッと結べば、ずり落ちません。

6 180-240gという軽さ 旅行用にも最適!

Tシャツと同じくらいに圧倒的に軽い。旅行などにもおすすめのクルクルぽん!

7 細身の 現代風もんぺ型紙

日常着として着られるように少し細身の形。着尺の幅でつくれる型紙も販売しています。

10 男女兼用 SMLサイズ!

老若男女、誰でも穿くことができるのが、MONPEのいいところ。家族で兼用しているリピーターさんも多いです。

9 あとから絞れる裾ゴム付き

もんぺはもともと裾にゴムがあらかじめ入っていましたが、現代で穿きやすいように、あとから絞れるよう内側にいれました。

8 膝当て ついてます

もんぺは農作業着、負荷がかかっても、膝が破れないように膝当てがついています。

TOYOTAの ビンテージ織機



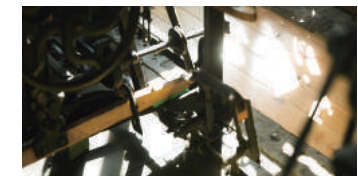
トヨタ創業者の豊田佐吉が開発したものと同一モデルの、80年ほど前の小幅のシャトル織機を今でも使っています。現代の高速織機に比べると織りがゆるやかで、とても軽くやわらかく、手織りに近いような風合いの生地なのです。

カラフルな柄もたくさん



久留米絣の染めは伝統的には藍染でしたが、化学染料が導入されてからは、さまざまな色の生地が織られるようになりました。今も藍染を続ける織元も残っていますが、MONPEシリーズでは主に化学染料を使用しています。

縮小する久留米絣の 産地の現状



最盛期には300件以上あった織元も現在は20数件まで減っています。それでも藍染手織りと化学染料機械織りの織元が半々ほど残っており、個性ある織元ばかりです。新しい層に久留米絣のことを知ってもらい着てほしいと思っています。

もんぺの柄ずらずら〜 他にもずらずらあります〜



Muji | ¥10,000 +tax



Katsuo | ¥11,000 +tax



Cross | ¥11,000 +tax



gap_stripe | 12,000 +tax



Cheers | ¥13,500 +tax



Fes | ¥13,500 +tax

Hana gara | レッド ¥15,000 +tax